

# 南アフリカ為替週報

2023年11月16日 | みずほ銀行欧州資金部

## <過去1週間の動き>

(11月9日～11月15日)

USD/ZAR: 18.1117～18.8057

ZAR/JPY: 8.06～8.33(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドル・対円で大幅反発。11月14日公表の米10月CPIの伸びが市場予想を下回ったことを受け、米政策金利に対する先行きの利上げ期待が完全に消滅。逆に来年7月までの50bpの利下げがフルに織り込まれるなど、米金融政策の転換に期待する動きが拡大した。また、米下院で暫定予算案が可決し、シャットダウン回避に向け大きく前進したことや、米中首脳会談での対立回避に向けた期待も、グローバルなリスクセンチメントの改善に影響しただろう。南アランドはその流動性の高さや、高金利・資源国としての立ち位置から、新興国通貨の中でもリスクセンチメントに敏感である。一方、為替市場ではグローバルにドル安が拡大したが、ドル円は米CPIの発表前の水準に向けて急激に押し戻されており、改めて日本円の弱さが意識されている格好だ。

南アフリカ国内の要因では、11月15日に公表された9月分の小売売上高が前年同月比+0.9%と市場予想の同▲0.4%を大きく上回ったことが目を引いた。7月～9月まで3か月連続して前月比でプラス成長となっており、2023年7～9月期のGDP統計でも個人消費はプラス寄与となる見込みだ。

## <過去1週間に発表された主要経済指標等>

| 月日    | GMT   | 指標         | 期間 | 予想*   | 実績    | 前回    |
|-------|-------|------------|----|-------|-------|-------|
| 11/9  | 11:00 | 工業生産(前年比)  | 9月 | -2.5% | -4.3% | 1.5%  |
| 11/15 | 11:00 | 小売売上高(前年比) | 9月 | -0.4% | 0.9%  | -0.3% |

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## <向こう1週間の見通し>

(11月16日～11月22日)

USD/ZAR: 18.00～19.50

ZAR/JPY: 7.60～8.40

今後1週間のランド相場は引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。何と言っても、米金利の動向が重要な変数である。米10月CPI発表後の米金利低下・ドル安は「過剰反応」に感じられるほど大きいものだったが、それだけ市場では米金利の低下(債券価格の上昇)に乗りたい投資家が多いことを示唆しているようにも感じられる。しばらくはこうした「米金利上昇の打ち止め論」に代表的な高金利通貨の1つである南アランドが恩恵を受ける可能性がある。もっとも、経常赤字と財政赤字の双子の赤字や、低迷する経済成長率など、南アの経済ファンダメンタルズには脆さがあり、外部環境の悪化時にはランドには再び下落圧力がかかりやすい点には注意が必要となろう。南アフリカ国内の要因では、11月22日の10月CPI、その翌日23日の南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策の発表が重要だ。通貨ランドの反発もあり、現在(11月15日時点)で市場に燻っていたSARBの追加利上げ観測は完全に消滅している。とはいえ、外部環境を考慮すれば、よほど景気やインフレ率が下振れなければ、SARBがタカ派姿勢を後退させるシナリオは考えにくく、同中銀は政策金利を「高く、より長く」の姿勢を崩さないと思われる。

## <向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

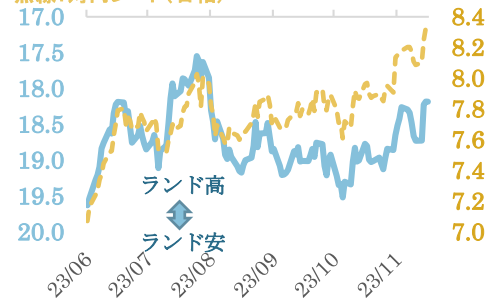
| 月日    | GMT   | 指標       | 期間  | 予想* | 実績 | 前回    |
|-------|-------|----------|-----|-----|----|-------|
| 11/22 | 08:00 | CPI(前年比) | 10月 |     |    | 5.4%  |
| 11/23 |       | 政策金利発表   |     |     |    | 8.25% |

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## 南ア・ランドの推移

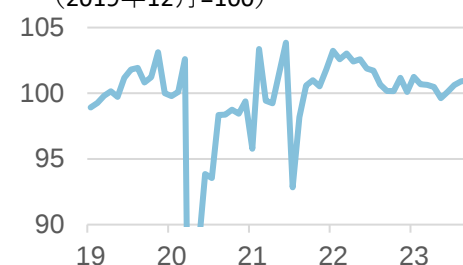
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



## 小売売上高

(2019年12月=100)

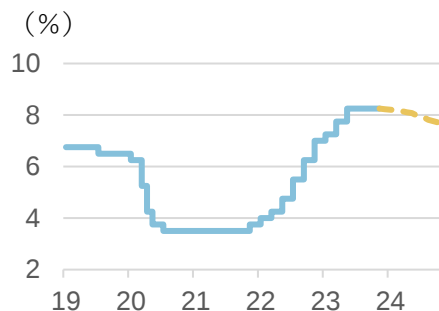


注: パンデミック時の2020年4月は53に低下。

## 南アフリカ準備銀行 政策金利

実線: 実績

点線: 市場の織り込み



注: 市場の織り込みは3か月JIBORの金利フォワード契約から計算。2023年11月15日時点。

(資料:SARB、南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

## <文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

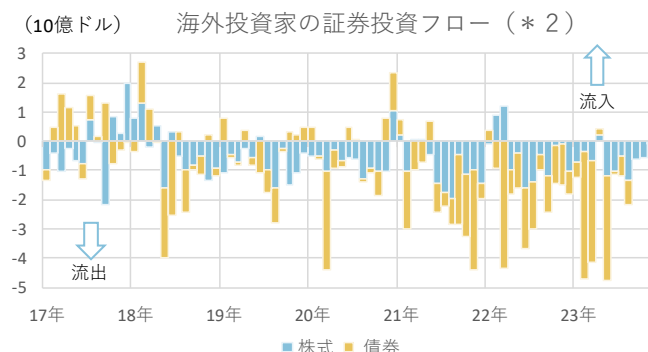
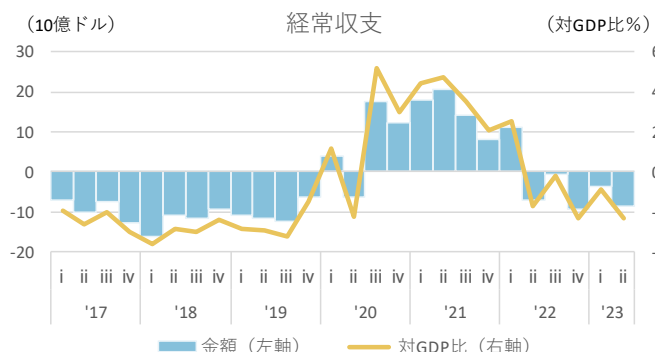
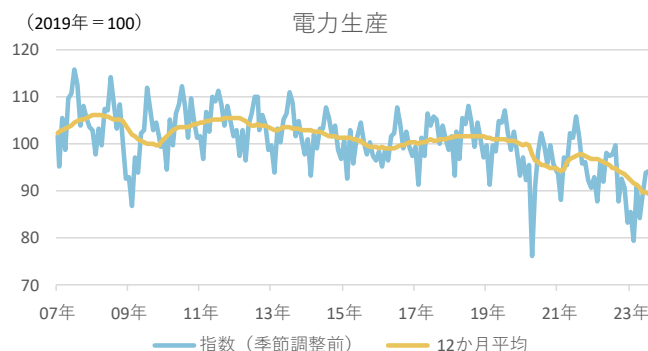
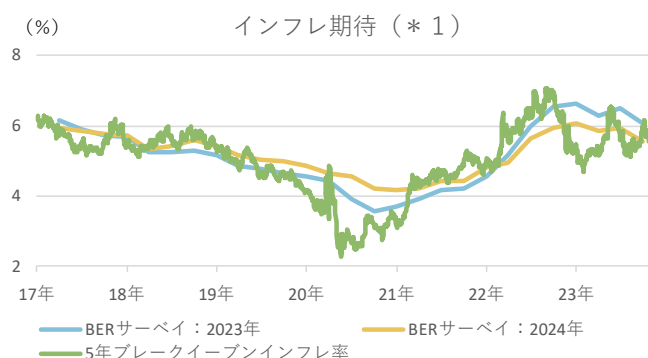
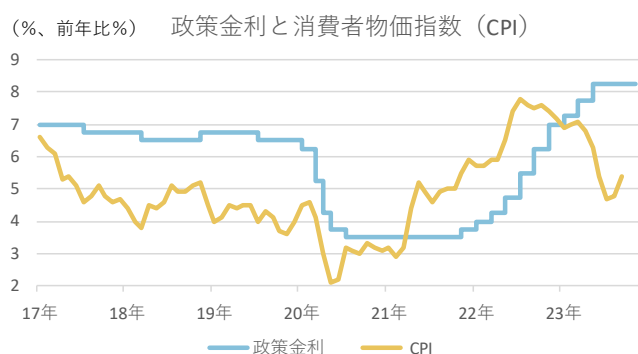
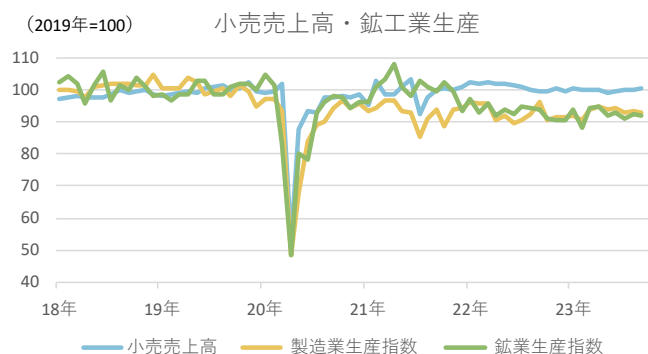
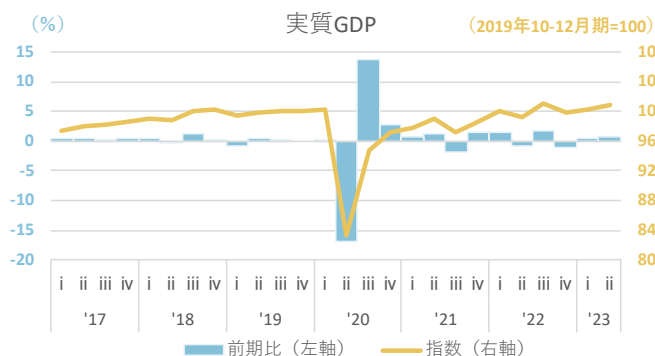
[masayuki.nakajima@mhcb.co.uk](mailto:masayuki.nakajima@mhcb.co.uk)

# 南アフリカ為替週報

2023年11月16日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

## <主要経済指標の推移>



- \* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局（Bureau for Economic Research）による四半期ごとの調査。  
経済アナリストや企業などが調査対象となっている。  
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- \* 2 : 月次データ。ただし、2023年11月は1日から14日までの累計値。

(資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。